

問題

部品と外部参照の違いを知りたい。

対象製品

「V-nas」シリーズ全般

回答

部品はファイル内からの参照のため他の物件への配置はできませんが、外部参照は図形ファイルのみで構成された図面ファイルとして保存するため他の物件への配置が可能です。

操作手順

対象コマンド：

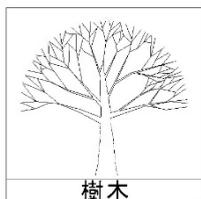
[V-nas 標準モード]：[参照] タブ - [部品] カテゴリ - 『部品登録/部品配置』コマンド、[参照] タブ - [外部参照] カテゴリ - 『外部参照登録/外部参照配置』コマンド

[V-nas クラシックモード]：『ファイル-部品-登録/配置』コマンド、『ファイル-外部参照-登録/配置』コマンド

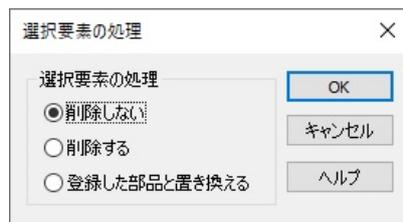
『ファイル-部品-登録/配置』コマンド手順

・登録

- 『ファイル-部品-登録』コマンドを実行します。
- 部品として登録する要素を選択し、配置基準点を指示します。
- 【部品名の入力:ダイアログ】にて“任意の名称”を入力し[OK]ボタンをクリックします。
(配置基準となる場所を左ボタンでクリックします。この点は今後の“配置”に関係します。)

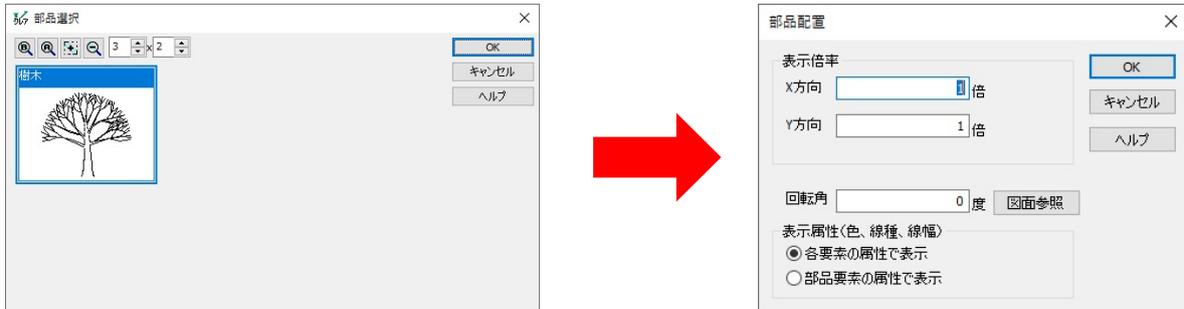


- 【選択要素の処理:ダイアログ】が表示されるため処理方法を選択し[OK]ボタンをクリックして登録を完了します。



・配置

- 1、『ファイル-部品-配置』コマンドを実行します。
- 2、【部品選択:ダイアログ】にて登録した部品を選択します。
- 3、【部品配置:ダイアログ】で[表示倍率][回転角][要素属性(色、線種、線幅)]を選択し[OK]ボタンをクリックします。図面上で部品の配置位置を指示し右クリックでコマンドを終了します。



『ファイル-外部参照-登録/配置』コマンド手順

・登録

- 1、『ファイル-外部参照-登録』コマンドを実行します。
- 2、部品登録する要素を選択します。全て選択し終わりましたら右ボタンをクリックします。
- 3、配置基準位置を指示します。
(配置基準となる場所を左ボタンをクリックします。この点は今後の“配置”に関係します。)
- 4、【名前を付けて保存:ダイアログ】が表示されますので、部品を保存する場所の選択とファイル名称を入力し、[保存] ボタンをクリックします。

・配置

- 1、『ファイル-外部参照-配置』コマンドを実行します。
- 2、【外部参照の配置:ダイアログ】にて配置タイプ※選択し[OK]ボタンをクリックします。



- 3、【開く:ダイアログ】で図形データを選択し[OK]ボタンをクリックします。図面上で部品の配置位置を指示し右クリックでコマンドを終了します。

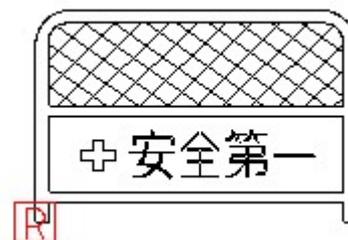
※『ファイル-外部参照-配置』コマンドでは以下の3タイプの配置方法が選択可能です。

タイプによって配置結果が変わります。

1、リンク（専用CADシリーズではリファレンス）

リンクで参照するリファレンスドロ要素して貼り付けを行い『設定-ユーザー設定-画面表示』コマンドにて【画面表示設定:ダイアログ】[参照マークを表示する]チェックボックスのレ点が入っている場合図形には[R]マークが付きます。

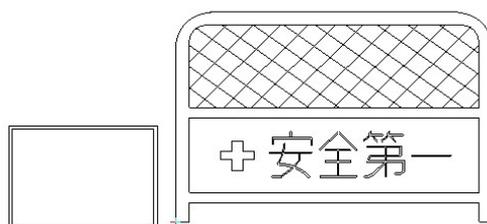
- ・元の図面ファイルを修正すると貼り付けたリファレンスドロ要素の内容も連動して変更されます。
- ・図面に貼り付けた「リファレンスドロ要素」には一部分を消去する、色を変更する等の編集は行えません。
- ・『編集-要素分解』コマンドをを行うと通常要素に分解され編集可能になります。



2、埋め込み（図面スケール）（専用CADシリーズでは埋め込み（注釈））

アクティブスケールに関わらず、元の図面ファイルと同じ縮尺で同じ大きさで読み込まれます。

例：外部参照要素のスケール 1/1、アクティブスケール 1/10 の場合 貼り付け時に下図のように部品が大きく配置されます。



3、埋め込み（アクティブスケール）（専用CADシリーズでは埋め込み（図形））

外部参照図形配置時の図面のアクティブスケールに合わせて、拡大、縮小して読み込まれます。

